

高齢者施設等における虐待への取組み状況について

1 主旨

区は、「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律（高齢者虐待防止法）」に基づいて、高齢者の権利擁護及び尊厳を保持するため、高齢者施設・事業所における高齢者への虐待の防止、被害者の早期発見、被害者及び家族への支援等について、関係機関等と連携し対応しており、その取組み状況について報告する。なお、本件は、今後毎年報告するとともに、重大案件については随時報告することとする。

2 虐待に関する相談・通報があった場合の流れ

[第1段階] 発見・相談・通報

- ・本人、家族もしくは介護事業者、近隣住民、医療機関等からの相談や通報
- ・相談・通報窓口は、各総合支所保健福祉課及びあんしんすこやかセンター



[第2段階] 状況確認

- ・虐待事実の確認、本人意思の確認、緊急性の確認、等
- ・相談、通報を受けた部署において、適宜関係機関と連携しながら状況を確認



[第3段階] 虐待対応ケア会議の開催

- ・区の担当部署、関係機関等必要に応じたメンバーの会議体
- ・緊急性の判断、対応方針の決定、調査する場合の役割分担の確認、等



[第4段階] 現地調査・虐待判定

- ・現地調査（介護記録確認、本人・職員への聞き取り、施設内チェック、等）
→調査結果等を踏まえ、虐待対応ケア会議において虐待かどうかを判断
虐待と認定された場合は、施設等に対して改善報告書の提出を求める。



[第5段階] モニタリング（改善状況の確認）・報告

- ・被虐待者やその周辺環境の状況の把握、状況が改善しているかの確認
- ・虐待が認定された場合は、東京都に報告

3 高齢者施設等における虐待に関する件数

(1) 過去5年間の相談・通報、虐待認定件数

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
相談・通報件数	12	9	13	23	39
虐待認定件数	4	1	5	5	8

(2) 内訳等（過去2年間分）※国からの調査様式に基づく

① 相談・通報対応件数		3年度	4年度
A. 高齢者施設等の種別（件数）		23	39
内 訳	特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）	5	11
	老人保健施設	2	2
	認知症対応型共同生活介護	1	5
	（住宅型）有料老人ホーム	4	4
	（介護付き）有料老人ホーム	6	11
	小規模多機能型居宅介護等	1	0
	短期入所施設	2	4
	訪問介護等	1	0
	通所介護等	0	2
	居宅介護支援等	1	0
B. 相談・通報者（延べ人数）※重複有		23	41
内 訳	介護支援専門員 ※4年度2件	1	2
	当該施設職員	6	13
	当該施設元職員	1	2
	施設・事業所の管理者	5	5
	医療機関従事者（医師含む）	3	1
	被虐待者本人	0	0
	家族・親族 ※4年度2件	3	8
	警察	0	0
	その他・匿名・不明	4	10
C. 事実確認・調査の状況（件数）		23	39
内 訳	虐待を受けた又は受けたと思われたと判断した事例	5	8
	虐待ではないと判断した事例	8	10
	虐待の判断に至らなかった事例（匿名の通報内容を裏付ける事実は確認できなかった、等）	5	11
	事実確認・調査を行っていない事例（相談対応の時点で既に事故報告として確認終了の事例や、調査予定事例、等）	5	10

② 虐待を受けた又は受けたと思われたと判断した事例		3年度	4年度
A. 虐待の種別・類型（複合有、延べ件数）		6	9
内 訳	身体的虐待	5	5
	介護・世話の放棄、放任	1	2
	心理的虐待	0	1
	性的虐待	0	0
	経済的虐待	0	1
B. 被虐待者の性別（延べ人数）		6	9
内 訳	男性	2	1
	女性	4	8
C. 虐待を行った高齢者施設等の従事者（人数）		5	8
内 訳	介護職	5	6
	看護職	0	0
	その他・不明（虐待事実はあったが個人の特が困難等）	0	2

4 高齢者虐待対策全般の取組み

(1) 高齢者虐待対策地域連絡会及び高齢者虐待対策検討担当者会の開催

高齢者虐待対策を推進するため、学識経験者、医師、弁護士、警察、民生委員等で構成される「高齢者虐待対策地域連絡会」を年1回開催、また、区職員、あんしんすこやかセンター職員、社会福祉協議会職員等で構成される「高齢者虐待対策検討担当者会」を年2回開催している。

(2) 虐待対応ケア会議（再掲）

相談・通報事例について、各総合支所保健福祉課において関係者によるケア会議を開催し対応している。

(3) 事業者等への対応力向上を目指した研修の実施

虐待対応基礎研修や事業者及び保健福祉課・あんしんすこやかセンター職員向けの研修を、高齢者虐待対策地域連絡会の担当者が企画して、年3回程度実施している。

【令和4年度実績（参考）】

第1回 講義内容：インテーク力の向上と事実確認の思考プロセス

受講者数：419名（動画配信によるオンライン研修）

第2回 講義内容：精神疾患を抱えた擁護者の虐待 ～発見から終結～

受講者数：281名（動画配信によるオンライン研修）

第3回 講義内容：セルフ・ネグレクトへの対応

受講者数：70名（動画配信によるオンライン研修）

(4) 高齢者虐待対応マニュアル・啓発用配布物の発行

区担当職員用の対応マニュアル、職員・事業者・区民向け啓発用配布物を発行しており、適宜内容の見直しを行っている。